



特集 歌声響くまち

いちかわみさと

市川三郷町には現在15を超えるコーラスグループが活動しています。この数は、他の町と比べても多く、このことからも市川三郷町は合唱が盛んな町と言えます。

夜間や休日は、町内で合唱のできる施設のほとんどが練習で埋め尽くされます。また、演奏会も定期的に行われ、『歌って』『聴いて』『合唱を楽しむ方が多くいることがうかがえます。

歌い終わった後の充実感、残響の漂うホール、音がハーモニーになつたときの喜び、合唱を通じて感じることができます。

はたくさんあります。

今回の特集では、市川三郷町と合唱の歴史をしてきた雨宮矩郎先生へのインタビューから、歌声の響くまちとなつたルーツを追い、人々を魅了する合唱の魅力について考えます。

合唱の魅力、というか私は合唱をしているときに感じる一体感が大好きです。違うパートの人や指揮者、伴奏者と一緒に作り上げていくのはとても達成感があります。

♪今村真優さん〔1年〕

合唱はチームプレーなので、仲間と一緒に一つの曲を作り上げていくというのが魅力だと思います。

合唱では自分自身が楽器となります。人それぞれ持っている楽器が違うので、自分だけのただ一つの楽器を持っていると考えると、とても誇らしく思います。

♪上田浩平さん〔3年〕

自分の言葉で
しっかり魅力を
伝えなさい！

熱血指導
薬袋直哉先生
(音楽部顧問)

合唱の魅力って？

市川高校音楽部のみなさんに聞きました

いちかわみさと 合唱の軌跡

市川三郷と合唱の歴史と、合唱の魅力についてお聞かせ下さい

一始まりはトラックの荷台

昭和37年、当時の市川大門町教育委員会が企画し、始まつたのが『歌の広場』でした。これは、小中学生が夏休みの期間に役場のトラックを使用して、合唱指導をしながら市川大門町内を巡るというものでした。私は、教師仲間とともに、トラックの荷台をステージにして、子どもたちに歌を聴かせたり、一緒に歌うなどしました。ときにはその時の流行曲を取り入れるなど、子どもたちと一緒に歌を楽しんだのをよく覚えています。

このトラックの荷台での合唱指導が、市川三郷町に合唱が根付いた始まりではないかと思います。そこから10年間、この『歌の広場』は続きました。

一コーラスグループの誕生

その後、市川大門町教育委員会の事業『婦人学級』が始まりました。ここでは女性がさまざまな学習をすることができたのですが、その

合唱が盛んになつたルーツを、ふれあいコンサート初代実行委員長で現在も町内合唱団体の指導にあたる雨宮規矩郎先生にお聞きしました。

中の一つにコーラス部があり、私は指揮者としてコーラス部の指導にあたりました。このコーラス部こそがママさんコーラスの始まりです。

これを機に、女性コーラスグループの活動は盛んになり、市川大門町内のあちらこちらに合唱団が創設され、その波は隣町の三珠町や六郷町にも広がっていきました。

また、同じ頃、合唱の輪は学校へも広ります。私の赴任する学校では、PTAの方々が合唱に積極的で、合唱団を作りたいという声がたくさん挙がりました。そこには必ず音頭を取る人がいて、保護者に声をかけ団員を集めてくれました。嬉しいことに、赴任した学校のほとんどで保護者合唱団が結成されましたね。

次ページへつづく

雨宮 規矩郎先生(印沢在住・84歳)

音楽教師として町内小中学校へ赴任し、教壇に立ちながら合唱の普及に努める。平成17年にはその功績が認められ日本教育音楽協会音楽教育功労賞を受賞。退職した現在も合唱の楽しさを多く人に伝えている。



♪高野香菜さん[2年]

大人数でハモニーを奏で、1つのものを作り上げることに魅力を感じます。

中学校訪問やその他いろいろな場で歌わせていただくときに、聴いた方の笑顔を見たり、感動しましたという声を聞いたときに、合唱っていいなと思います。

♪小池苗子さん[3年]

誰かと息を揃えて歌うと、とてもきれいな歌声になるところが好きです。あとは、自分の気持ちが歌に表れるところも魅力だと思います。

♪笠井 瓜さん[1年]

♪市川高校音楽部

NHK全国学校音楽コンクールや全日本合唱コンクールなどで全国大会出場の経験を持つ県内屈指の実力校。また、役場でのクリスマスコンサートや町内小中学校での合唱指導など、地域と密着した活動を行い町内に合唱の魅力を広めている。

もちろん校内での合唱も盛んでし

た。当時、私が着任していた市川中学校では、学園祭で合唱コンクールが始まるなど、音楽の授業以外で歌う機会が増えていきました。

昭和61年には町民合唱祭が始まりました。現在まで続く合唱の大イベントです。この町民合唱祭には女性グループだけでなく、男声合唱団も参加するようになり、合唱団は性別の枠を越え、普及していきました。

—ジュニアコーラスの誕生

着々と広まる合唱でしたが、結成される合唱団は、大人の合唱団ばかりでした。『大人の合唱団はあるのに子どもの合唱団がないのは寂しい。』そう感じる人がたくさんいました。そこで平成17年、子どもの居場所づくり事業の一環として小中学生のための「コーラスグループ」「ジュニアコーラスいちかわ」が発足しました。子どもたちが学校以外で歌を楽しむとのできる場所ができたのです。こうして合唱団は幅広い方々が楽しめるものとなりました。

—市川高校音楽部の存在

市川三郷町と合唱の歴史を考えるうえで、市川高校音楽部の存在はとても大きいです。市川高校音楽部は、町内小中学校での合唱指導や、役場本庁舎エントランスホールでのコンサートを通して、その歌声を町中に届けています。

けてくれています。

音楽部にジュニアコーラス出身の生徒が入部したり、音楽部だった生徒が地域のコーラスグループに所属したりなどもあるんです。合唱団が盛んになる前から、素晴らしい指導者のもと美しい歌声を響かせる音楽部の存在は、町の合唱団を鼓舞させました。

—雨宮先生の想い

合唱の魅力は、楽しく歌えることです。上手くなることよりも、楽しく歌っているかどうかが大切です。合唱ではそこを意識してほしいと思います。今、合唱をしている人にいやいや歌っている人はいません。みんな歌が好きでコーラスグループに所属し、歌っています。そしてどのグループも独立した自主団体として活動しています。だからこそ、ここまで合唱が広がり、歌声の響くまちになつたのだと思います。私の願いは、一人でも多くの人に歌つてもらうことですね。

◀①現在も合唱団の指揮をする雨宮先生
⑤結成10周年を迎えたジュニアコーラスいちかわ（ともに昨年行われた「町民合唱祭」から）



今回の取材を通じて

「聴く側」だった合唱の「歌う側」の楽しさを知ることができ、本当の魅力がわかつた気がします。これから歌を歌うことは体にも心にも良いといわれています。これからもどこからか歌声が聴こえてくる『いちかわみさと』でいいなと感じました。

市川高校音楽部 第40回定期演奏会

Message

～あなたの心に届ける言葉～

7月25日㈯

開場17:30 開演18:00

コラニー文化ホール（小ホール）

入場料 一般450円 学生（高校生以下）300円

16:00からホワイエにて、市川高校音楽部定期演奏会40周年記念展示が行われます

間山梨県立市川高等学校 ☎ 055-272-1161

部長の進藤亜由美さんより

今年は初の4部構成！歴代の先輩方とも共演し、一緒にステージを作ります。現役だけではなく今まで音楽部を作ってくださった先輩・先生との思いのこもった第3部は必見♪ぜひお越し下さい。



夏休みは図書館へ行こう

図書館は、夏休み中の子どもたちを応援します！

夏休みはじっくり調べたり、研究する絶好の機会です。そんな時、図書館を利用してみませんか？テーマ別に皆さん的研究に役立ちそうな図書を展示します。その場で調べたり、貸出もできます。

【場所】市川大門町民会館 2階視聴覚室

【対象】小学生、中学生

【主な図書テーマ】環境、自然（昆虫・動物）、工作、図鑑、自由研究、百科事典など

調べ学習展示

7/28火～7/30木

7/28・PM1:00～PM5:00
7/29・AM9:00～PM5:00
7/30・AM9:00～PM4:00

夏のおはなし会

【場所】みたま児童館

【出演】耳をすませば

【内容】紙芝居、言葉あそび、わらべうたなど

三珠分館

7/11土

AM10:30～正午

絵本の読み聞かせ講座

【場所】市川大門町民会館
2階視聴覚室

【講師】藤森恵理香さん

（山梨県立図書館 企画調査課 子ども読書推進担当）

【対象】読み聞かせボランティア、絵本に興味のある方などどなたでも

※参加希望の方は、本館 ☎ 055-272-8888まで申し込み下さい

展示コーナー（本館）

『高田写楽会作品』展

会員の力作を8点ずつ展示します。
日頃の成果をご覧下さい。

【期間】7月30日木
正午まで

【提供】高田写楽会



新着図書

一般向け

『一〇三歳になってわかったこと
人生は一人でも面白い』
(篠田桃紅・著 / 幻冬舎)

「いつ死んでもいい」なんて嘘。生きているかぎり、人間は未完成…。いつでも面白がる、平和な心を育てる、唯我独尊に生きる。数えて103歳となった今も第一線で制作している、世界で最も尊敬される現役美術家が、クリエイトする力を明かす。

児童向け

『かき氷 天然氷をつくる』
(細島雅代・写真 / 伊地知英信・文 /
岩崎書店)



なぜ、天然氷のかき氷はおいしいのか？真冬の冷たさを真夏までとじこめる貴重な技術の秘密とは？埼玉県長瀬の、明治時代からある天然氷の氷屋さん一家の、氷づくりを追ったフォトドキュメント。

図書館 Information



【本館】☎ 055-272-8888 開館時間 9:00～17:00 (木曜日は 19:00まで)

■休館日：毎週月曜・祝日・年末年始・月の最後の平日

【三珠分館】☎ 055-272-1204 開館時間 9:00～17:00

■休館日：毎週日曜と月曜・祝日・年末年始

【六郷分館】☎ 0556-32-2002 開館時間 [平日] 正午～19:00 [土・日] 9:00～17:00

■休館日：毎週月曜・祝日・年末年始

太盛況でした！
楽しいパペットお話会

講師に、矢崎育子先生、米山夫佐子先生を招き、「楽しいパペットお話会」が開催され、パペット人形たちと一緒にひとときを過ごしました。当日は、たくさんの方が参加してくださいり、最後は、子どもたちも小さなパペット人形を動かしながら、大合唱しました。



(6/7 文京交流センター)

セカンドブック事業がスタートしました

3歳児健診で、読み聞かせの大切さをお話ししてから絵本をプレゼントしました。どの子どもさんも、とても嬉しそうにお気に入りの本を手にしていました。

(6/4 三珠健康管理センター)



今月のおはなし会 気軽にお越し下さい！

■本館-[乳幼児] 7/23(木) 11:00～11:30

■三珠分館-[幼児～小学] 毎週(火) 16:30～17:00

[乳幼児] 7/22(水) 11:15～11:45

■六郷分館-[幼児～小学] 7/21(火) 15:30～16:00



75歳以上の方全員が 加入している後期高 齢者医療制度に関するお知らせです

後期高齢者医療制度加入者には
7月中に新しい保険証をお送り
します

(現在お持ちの保険証は7月31日が有効期限です)

後期高齢者医療制度（75歳以上全員と所定障害の65歳以上含む）に入れている方がお持ちの保険証は、7月31日が有効期限となっているため、今月中に新しい保険証をお送りします。

受け取つたら、自分のものに間違いないかよく確認し、お手元に届いた日から必要に応じてお使い下さい。

古い保険証は、8月以降使えません。大切な個人情報が記載されていますので、各自で細かく裁断するなどして確実に破棄して下さい。

郵送の方法は、皆さんやご家族に、直接手渡しする書留郵便です。

保険料の決め方

平成27年度の後期高齢者医療保険料は次の計算で決まり、7月中にお知らせします。

$$\text{■保険料} = \text{均等割額} + \text{所得割額}$$

(40,490円) (所得 - 33万円) × 7.86%

*保険料の額には、世帯の所得水準などにあわせた軽減措置があります。

*保険料賦課限度額 57万円

問町町民課国保年金係☎ 055-272-1105

		結婚		誕生	
		すばらしこ家庭を	元気に育つてね	氏名	届出人
		両人の氏名	地域		
渡邊	友則	内藤 太一	斎藤 光恵	高橋 楓愛 研	市川大門
宮崎	大輔	岸本 遼	八木かおり	越石 彩聖 正高	市川大門
雨ノ宮智貴	II	石原 誠歩	穂坂 沙苗	望月 碧人 政幸	市川大門
宇佐美さおり	II	秋山 翠		村松 芽依 正史 大同	

※本人・ご家族の申し出があつたものの掲載
おめでた
5月届出分
(敬称略)



おめでた

5月届出分
(敬称略)





保険料の納め方は4種類あります。通知書の保険料が記載されている欄や、納付書の有無で徴収方法が分かれます。

加入者の保険料額については、昨年中の所得が確定するこの時期に決定し、保険料決定通知書などをお送りしています。

金融機関窓口や口座振替で保険料を納めて下さる方は、各納期限内に納めていただけます。

後期高齢者医療制度に加入している方に納めていただき、今年度の保険料額が決定しました。

加入者の皆さんに保険料決定通知書をお送りします
(今年度の後期高齢者医療保険料額が決定しました)

納入通知書から見る 保険料の納め方のパターン

↓年金から天引きされています
■納入通知書の特別徴収欄①のみに保険料額が記載され、納付書は同封されている

↓口座振替です
■納入通知書の普通徴収欄②のみに保険料額が記載され、納付書は同封されていません

↓納付書にて金融機関の窓口で納付して下さい
■納入通知書の普通徴収欄②のみに保険料額が記載され、納付書は同封されています

■納入通知書の特別徴収欄①のみに保険料額が記載され、納付書は同封されています

▼納入通知書の期別保険料額が記載されている部分

期別保険料額

月	特別徴収(円)	期 别	普通徴収(円)	普通徴収の場合の 納 期 限	
				①	②
4月					
5月					

斎藤 武雄	遅澤 蕉	小林智佐人	酒井 清	笠井 俊子	遠藤 義朗
和司	齊敏夫	友久	弘	一瀬 利雄	久保 悅子
葛籠沢	楠落居	岩間	大	達	岸本はつ子
	甫		同		三男 市川大門

死亡	お悔やみ申しあげます
氏名	届出人
	地域